



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

令和8年度 10月号④

令和8年度 重点目標 「自分から チャレンジ」

【文責 校長】

「本物との出会い」が拓く子どもたちの未来

～プロサーファー池田美来選手に学ぶ～

先日、アジア競技大会のサーフィン女子で、見事、金メダルに輝いた御前崎市出身のプロサーファー・池田美来（いけだ みらい）選手をお迎えし、6年生との交流会を行いました。世界を舞台に活躍する「本物」との時間は、子どもたちの心に大きな学びの種を蒔いてくれました。



交流会の中では、子供たちからの質問タイムがありました。「なぜ、サーフィンを始めたのですか？」「小学校のころはどんな生活をしていましたか？」「どんな時にサーフィンをやっていたよかったですか？」「金メダルを取った時はどんな思いでしたか？」などの質問に対して、池田選手が自分の体験を交えながら、子供たちに語りかけるように丁寧に答えてくださいました。

その中で、「世界を相手にしながら結果を残していくために大切にしていることは何ですか？」という問いに対し、池田選手は6年生に向けて、これからの学習や生活に深く結びつく大切なアドバイスを教えてくださいました。

「まず目標を持つこと。そして、目標達成のために必要なこと（今の自分の課題・やるべきこと）を1つ1つあげること。それを、目の前のことから1つずつクリアしていく。その積み重ねが、最終的な達成へとつながっていくよ。」

世界のトップで戦うプロの言葉だからこそ、子どもたちの胸に強く刺さったのではないかなと思いました。大きな夢を描くだけでなく、今日、明日、自分が「やるべきこと」に実直に向き合うことの大切さを、本物との対話から学ぶことができました。



また、子どもたちが、池田選手が獲得した本物の「金メダル」を一人ずつ手で触らせていただく機会もありました。「ずっしりと重い！」と歓声が上がりましたが、子どもたちが感じたのは単なる金属の重さだけではなく、11歳でプロになり、世界の壁を乗り越えてきた池田選手の「努力の足跡」、本物が持つ圧倒的な重みを肌で感じたのかなと思いました。

御前崎の海で育ち、世界へと羽ばたいた池田選手の姿は、子どもたちに「地域への誇り」と「一步を踏み出す勇気」を教えてくださいました。

最高学年である6年生には、今回学んだ「目標を細かくクリアしていく力」を日々の学習や行事、そして卒業に向けた一步一步に活かしてほしいと願っています。

池田選手、素晴らしい「本物の学び」をありがとうございました！



日々の学校の様子は HP に掲載されています。ご覧ください。 <https://shirosho.jp/>

